

令和3年度
環境経営レポート

対象期間 令和3年5月1日～令和4年4月30日
発行年月日 令和4年7月20日

日興電気株式会社

令和3年度

環境経営レポート

対象期間 令和3年5月1日～令和4年4月30日
発行年月日 令和4年7月20日

日興電気株式会社

目次

1. 挨拶・・・P.3
2. 環境経営方針・・・P.3
3. 事業概要及び認証登録範囲・・・P.4
4. 実施体制・・・P.5
5. 環境経営目標及び環境経営計画・・・P.6
6. 環境経営目標の達成状況及びその評価・・・P.8
7. 環境経営計画の実施状況及びその評価・・・P.9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無・・・P.11
9. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示・・・P.12

1. 挨拶

この度は弊社の環境経営レポートをご覧いただき誠にありがとうございます。

社会における環境への意識の高まりを感じる中、弊社としても環境配慮は社会的責務であると認識し、日々の事業活動においても取り組みを継続しているところであります。エコアクション21の認証取得を通じて、全社員がより一層の環境配慮に対する取組強化に臨み、社会への信頼と期待に応えたいと考える所存であります。

代表取締役 岩館 光

2. 環境経営方針

(基本理念)

弊社は創業から半世紀以上にわたり電気設備工事業を営み、地域発展のために微力ながら力を尽くして参りました。地球温暖化や環境汚染が大きな社会問題となっており、今後も引き続き地域と共存していくためには環境への配慮が不可欠であり、そのために力を尽くしていかねばなりません。特に、エネルギーに関わる弊社の事業は、社会や環境に配慮する責務があり、またその責任は重大であると考え、地球温暖化防止と環境負荷の低減のために、社員一丸となって取り組む事を誓約します。

(環境保全への行動指針)

1、CO₂（二酸化炭素）排出量の削減

電気や化石燃料の使用によって排出されるCO₂の削減に努めます。

2、廃棄物の削減と資源の有効利用

産業廃棄物、一般廃棄物の削減と、再利用可能な資源の分別と有効利用に努めます。

3、水資源の節制

事業所内で使用する水の節水に努めます。

4、地域社会の環境保全活動の参加

地域活動や環境保全活動に、積極的かつ継続的に取り組みます。

5、環境に関する法規制の遵守

事業活動に関連する環境関連法規等は確実に遵守します。

6、環境配慮型技術の普及推進

環境負荷の低減に資する製品の拡販に積極的に取り組みます。

7、企業価値の向上

定期的に環境システムを見直し、環境活動の改善を行い、継続的に環境に配慮した社会貢献に努め、人材の確保や育成に取り組みます。

制定日：平成26年7月31日

改定日：令和4年5月20日

日興電気株式会社

代表取締役

岩館 光

3. 事業概要及び認証取得範囲

□組織の概要

名称及び代表者名 日興電気株式会社

代表取締役 岩館 光

所在地 本社 岩手県花巻市豊沢町4-14

ゴルフ事業部 岩手県花巻市本館165-8

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

総務課 室岡 紀朝 E-mail info25den@nikkoden.co.jp

TEL 0198-24-6311

FAX 0198-24-2068

事業活動の内容

・本社

電気工事業 電気通信工事業 消防施設工事業

(建設業許可(特-3)-第1798号 電気工事業 通信設備工事 消防施設工事)

・ゴルフ事業部

ゴルフ練習場の運営

事業規模

(R4.4末時点)

総売上 425,892 (千円)

工事件数 369 (件)

従業員 26 (名)

(うち、パート) 5 (名)

延べ床面積 1,264.48 (m²)

(うち 本社) 586.54 (m²)

(うち、ゴルフ事業部) 677.94 (m²)

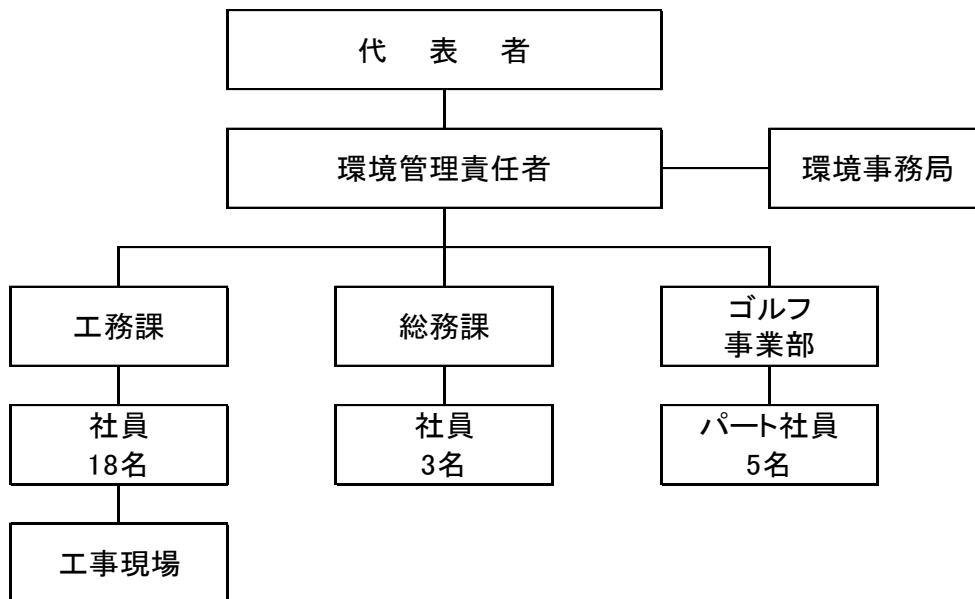
□認証・登録の対象組織・活動

認証・登録組織名 日興電気株式会社

対象組織・活動 全組織・全活動

4. 実施体制

(1) 組織



(2) 環境経営システム

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任者
	・環境経営方針の策定、環境経営システムの運用に必要な経営資源(人、設備、資産)の調達
	・環境経営システム全体の評価と見直しの実施、必要十分な実施体制の構築
	・環境経営レポートの承認
	・環境管理責任者の任命
	・経営における課題とチャンスの明確化
	・環境経営方針の全社員への周知
環境管理責任者	・システムの構築、運用、チェック管理業務
	・環境活動の結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの作成
	・外部コミュニケーション窓口
環境管理事務局	・データの収集および集計、作図・作表
	・その他、環境管理責任者の業務補佐
部門責任者	・各部において環境管理活動の行動目標を設定・実施
	・環境管理担当者に成果を報告、フィードバックを受けて改善
	・各活動や実施体制に不具合があった際は是正や予防処置の実施
全社員	・環境経営方針の理解、取組の重要性の認識
	・環境経営方針に従い、自主的、積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標及び環境経営計画

(1) 主な環境負荷の実績

項目	単位	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
CO₂排出量	kg-CO₂/年	71,439	73,240	80,301	71,485
・電力	kg-CO ₂ /年	22,370	19,080	17,541	16,955
・ガソリン、軽油	kg-CO ₂ /年	36,238	41,548	50,980	41,415
・灯油、都市ガス、LPガス	kg-CO ₂ /年	12,831	12,611	11,780	13,115
産業廃棄物排出量	kg/年	9,530	34,610	5,820	44,218
一般廃棄物排出量	kg/年	3,700	6,090	4,189	3,645
総排水量	m³/年	463	447	611	546
環境配慮製品の拡販	件数	17	19	27	34
グリーン購入	件数	58	67	52	119

(2) 環境経営目標

平成30年度を基準年とし、単年度の環境目標を以下のように設定し、環境活動に取り組んでいます。

項目		単年度目標		
		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
CO₂排出量	本社・工事現場・ゴルフ事業部	5%減	6%減	7%減
・電力	本社・ゴルフ事業部	5%減	6%減	7%減
・ガソリン、軽油	工事現場	5%減	6%減	7%減
・灯油、都市ガス、LPガス	本社・ゴルフ事業部	5%減	6%減	7%減
産業廃棄物排出量	工事現場	5%減	6%減	7%減
一般廃棄物排出量	本社・ゴルフ事業部	5%減	6%減	7%減
総排水量	本社・ゴルフ事業部	5%減	6%減	7%減
環境配慮製品の拡販	本社・工事現場	20%増	30%増	40%増
グリーン購入	本社	3%増	4%増	5%増

(3) 環境経営計画（中期取組内容）

対象	方針	目標項目		取組内容
CO ₂ 排出量	削減	電力使用におけるCO ₂ 排出量の削減	本社・ゴルフ事業部	節電意識の定着化 照明のLED化 エアコンの設定温度の適正化 昼休み中等不要な照明の消灯
		ガソリン・軽油使用におけるCO ₂ 排出量の削減	工事現場	エコドライブの励行 配車の適正化 空気圧の定期的なチェック 低燃費車両への更新
		灯油・LPG等使用におけるCO ₂ 排出量の削減	本社・ゴルフ事業部	クールビズ、ウォームビズの励行 省エネ機器への更新 冷暖房の不要な部屋の電源を切る
産業廃棄物排出量	削減	排出量の削減	工事現場	施工ムラ、ムダの低減 発生した産業廃棄物の適正な管理・処分の徹底
一般廃棄物排出量	削減	排出量の削減	本社・ゴルフ事業部	分別の徹底 再利用資源のリサイクル コピー用紙の使用量の削減
総排水量	削減	水道水使用量の削減(節水)	本社・ゴルフ事業部	節水意識の定着化 使用量の随時確認
環境配慮製品	拡販	環境配慮製品の拡販	本社・工事現場	LED照明、エアコン等の環境負荷に配慮する製品の販売件数(施工件数)の増加
グリーン購入	増加	グリーン購入	本社	事務用品等において対象製品の購入品目の増加
地域活動	参加	ボランティア 地域清掃	本社・工事現場	地域活動への積極的参加
企業価値の向上	向上	各種認定制度の活用	本社	「いわて地球環境にやさしい事業所(4つ星)」認定の継続 その他、認定制度の活用

6. 環境経営目標の達成状況及びその評価

令和3年度の取組みは、CO₂排出量は基準値と比べ若干の増加となり、目標値には届かなかったという結果となりました。ただし、売上高の増加幅に比べ、CO₂排出量の増加幅は抑えられたことは社員の努力の結果と感じられました。

項目別に見てきますと、電力については基準年と比べ使用量は増加しましたが、CO₂排出量は削減され目標達成という結果となりました。これは昨年度同様、2017年版ガイドラインへの移行に伴う集計方法の見直しによるところです。酷暑・厳寒から適切な職場環境を維持するためのエアコン使用量の増や、ゴルフ事業部でのシミュレーター利用の増が主な使用量増加原因と考えられます。ただし、昨年度と比べると使用量・CO₂排出量共に削減されており、環境活動の成果を見ることができます。

ガソリン・軽油については、遠方の現場の増加や、売上高の増大に伴う現場の増加により使用量・CO₂排出量ともに増加し、目標未達となりました。

灯油・ガス等については、厳寒による冬期の灯油使用量が増加したため、目標未達となりました。

産業廃棄物排出量は目標未達とはなりましたが、個々の現場の内容によるところが大きい項目であるため排出量のコントロールは難しいものではあり、引き続き適正な管理・処分に努めるものとします。一般廃棄物排出量は、基準値を僅かに下回ったものの、目標値には届きませんでした。引き続き、分別等を徹底し、削減に努めます。

総排水量については、ゴルフ事業部の設備老朽化による慢性的な漏水のため大きく増加し、目標未達となりました。

グリーン購入、環境配慮製品の拡販ともに、目標達成となりました。引き続き、取り組んでまいります。

項目	単位	基準値 (平成30年度)	単年度目標		実績値	評価 ○:100%以上 △:80%以上 ×:80%未満
			令和3年度	目標値		
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	71,439	7%減	66,438	71,485	△
・電力	kg-CO ₂	22,370	7%減	20,804	16,955	○
・ガソリン、軽油	kg-CO ₂	36,238	7%減	33,701	41,415	△
・灯油、都市ガス、LPガス	kg-CO ₂	12,831	7%減	11,933	13,115	△
産業廃棄物排出量	kg	9,530	7%減	8,850	44,218	×
一般廃棄物排出量	kg	3,700	7%減	3,450	3,645	△
総排水量	m ³	463	7%減	432	546	×
環境配慮製品の拡販	件数	17	40%増	24	34	○
グリーン購入	件数	58	5%増	61	119	○

※購入電力のCO₂排出係数（令和2年度調整後排出係数、単位：t-CO₂/kWh）は、東北電力(株) 0.522（本社）及び(株)エネット 0.372（ゴルフ事業部）を使用しました。

7. 環境経営計画の実施状況及びその評価

(1) 実施状況及びその評価

項目		実施状況及びその評価	
		評価	取組内容
CO ₂ 排出量	電力使用における CO ₂ 排出量の削減	○	不要な照明のこまめな消灯等取り組んでいる
		△	冷暖房の適正配置と適正使用
		△	局所暖房を取り入れ節エネに取り組んでいる
		○	照明の LED 化に取り組んでいる
		△	(ゴルフ)シミュレーター利用の増加に伴い使用量が増大
	ガソリン、軽油使用における CO ₂ 排出量の削減	△	遠方の現場の増加、売上高の増大に伴う現場の増加
	灯油、LPG 等使用における CO ₂ 排出量の削減	△	厳冬期に灯油使用量が増加 LPG、プロパンの削減は頭打ちか
産業廃棄物 排出量	排出量の削減	×	売上高の増大等に伴い排出量が増加 マニフェスト管理は徹底されている
一般廃棄物 排出量	排出量の削減	△	分別の徹底がされている
総排水量	水道水使用量の削減 (節水)	○	(本社)必要最低限の使用にとどめている
		×	(ゴルフ)地下埋設配管、構内排水管の漏水により増加
環境配慮 製品の拡販	環境製品の拡販	○	LED 照明、エアコンによる省エネ化は堅調
グリーン購入	グリーン購入	○	対象事務備品の購入の増加
地域活動	ボランティア、地域清掃	○	点検清掃他美化運動、建設業に関する普及啓発活動の実施
企業価値 の向上	各種認定制度の活用	○	「いわて地球環境にやさしい事業所(4 つ星)」認定(継続) 「いわて女性活躍認定企業等(ステップ 1)」認定(新規)
その他	設備・施設	○	事務所の受付に花鉢を置くようにした

(2)次年度の取組内容

1. CO₂排出量の削減

近年の酷暑・厳寒の傾向により、エアコン使用による電気使用量の増加が見られます。また、ゴルフ事業部においてはシミュレーター利用の増加による電気使用量の増加が見られます。月次の使用量を随時確認して、異常値がないか注視を続けていきます。また、電気使用量の削減対策として、太陽光発電システムの導入を前向きに検討していきます。

ガソリン・軽油使用によるCO₂排出量は売上高に比例して増加していくためコントロールは難しいところではありますが、冬場の休憩等はアイドリングした車両内でおこなっているため、休憩所拡張等の整備により対策・環境向上に努めます。また、安全運転の励行によるエコドライブにより燃料費削減を図ることや、低燃費車両への更新も検討いたします。

灯油使用量は厳冬期に増加するため、ウォームビズの励行や温度調整を随時確認しながら節約に努め、異常値がないか注視を続けます。

2. 産業廃棄物排出量及び一般廃棄物排出量の削減

産業廃棄物排出量は、個々の現場の内容によるところが大きい項目であるため排出量のコントロールは難しいものではあります。引き続き適正な管理・処分に努めるものとし、排出量の削減に努めます。

一般廃棄物排出量は、分別等を徹底し、排出量の削減に努めます。

3. 総排水量（節水）

事務所内で使用する水の大半は生活排水（トイレ・給湯）であり、張り紙をする等社員の意識向上に努め、引き続き活動に取り組むものとします。

ゴルフ事業部においては、月次の使用量を随時確認し、異常値がないか結果を注視しながら環境活動に努めます。

4. 環境配慮製品の拡販

当社の事業範囲においてはLED照明やエアコン等の環境配慮製品を多く取り扱っており、お客様に積極的に提案することによって環境配慮型社会の形成に寄与できるよう、今後も積極的な提案活動に努めます。

5. グリーン購入

事務用品等を購入する際は、対象製品を購入するよう引き続き努めます。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価、違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について遵守状況をチェックした所、違反等はありませんでした。

また、過去三年間、関係当局からの違反等の指摘、住民からの苦情、訴訟等について問題はありませんでした。

法律・条令規則 の名称(略称)	内容	遵守 状況
廃棄物処理法	廃棄物の適正な処理と減量 国・地方公共団体の施策に協力 産業廃棄物の処理または委託基準の遵守 管理票の交付、回収・照会、保管・管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物の適正な引渡し及び費用の負担	○
建設リサイクル法	建設資材廃棄物の発生の抑制	○
温対法	温室効果ガスの排出の量の削減	○
フロン排出抑制法	対象機器の簡易点検・定期点検	○
岩手県循環型地域社会の形成に関する条例	廃棄物等の適正処理	○

なお、環境関連法規については、環境省ホームページや各種法令検索等を用いて確認しています。

9. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示

(1) 取組状況の評価

評価項目	内容	達成度
環境関連法の遵守状況	当社において環境関連法規に違反している事項はない。 産業廃棄物の排出方法についても関係部署間で周知徹底し取組んでいる。	100%
環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況、その評価結果	電力、ガソリン・軽油等複数項目で目標未達があったものの、売上高の増加幅に比べると、CO ₂ 排出量の増加幅は決して大きくないとみる。各種指標について管理・報告がされており、異常値のモニタリングも随時出来ており、適正に管理されているとみる。	80%
問題点の是正処置及び予防措置	車両の適正配置や省エネ車両への切替え、安全運転の励行によるエコドライブにより燃料費削減を図る。 月次の使用量を随時確認し、異常値がないか結果を注視しながら環境活動に努める。	
外部からの苦情等の受付結果	クレーム対応ノートを整備し記録を取っているが、今のところクレームは発生していない。現場においても同様にクレームが発生していないが、何か問題が発生した際は速やかに報告するよう周知徹底する。 クレーム以外にも環境活動等に関する記録をしている。	100%
組織に影響する法規制動向	特になし。	
取引先からのグリーン購入	特になし。	
エコアクション環境改善提案	太陽光発電システムを導入する等、事務所内の環境改善と光熱費の圧縮を図るよう検討する。	
企業価値の向上	「いわて地球環境にやさしい事業所(4つ星)」認定(継続)。 「いわて女性活躍認定企業等(ステップ1)」認定(新規)。	
その他	特になし。	

(2) 見直し・指示

見直し項目	評価	改善及び指示
環境方針	環境方針に基づき活動を行うにあたり支障はないとみるので問題なし。	時になし。
環境目標	複数の目標未達項目があり、特に電気、ガソリン・軽油は目標未達が続いている。目標設定の見直しが必要な時期となっている。	現場住所に応じで変動が大きい燃料費の数値は目標設定が難しいが、諸々の取組みで削減努力を行うこと。 取組内容はできることから少しずつ項目を増やして管理するよう努めること。
環境経営計画及び環境経営システム	概ね達成している。	太陽光発電システムの導入を検討しつつ、その他の省エネ方策も、引き続き検討すること。
その他	特になし。	
<p>全体評価</p> <p>令和3年度については、CO₂排出量削減目標は未達であるが、酷暑・厳寒の影響や、遠方の現場の増加・売上高の増大による現場の増加、ゴルフ事業部におけるシミュレーター利用の増加を鑑みれば止むを得ない結果とみる。ただし、電気、ガソリン・軽油の使用量のモニタリングは特に注視し、使用量の削減に努めること。</p> <p>新しい環境目標を設定するにあたり、達成に向けた取り組みも大切であるが、社員の環境意識の向上も大切であることから、引き続き環境活動の啓発・取り組みを継続すること。</p>		